


当院採用の吸入薬一覧(成人用)

2018年12月20日作成

| 分類 | デバイス | 商品名 | 一般名 | 製剤写真 | 効能・効果 | 用法・用量 | 特徴 |
|---------------------------|-------------|--|----------------|---|-------------------|--|--|
| ステロイド | DPI 自吸式 | パルミコート100 μ gタービューヘイラー112吸入 パルミコート200 μ gタービューヘイラー112吸入 | ブデソニド |  | 気管支喘息 | 1回100~400 μ gを1日2回 1日最大1600 μ g | <ul style="list-style-type: none"> ・1回の粉量が少なく、吸った感じがほぼしない ・残り使用回数目盛が小さく、色で表示されるため残量がわかりにくい ・妊婦への安全性が高い |
| | pMDI 噴霧式 | オルベスコ200 μ gインヘラー56吸入用 | シクレソニド |  | 気管支喘息 | 1回100~400 μ gを1日1回 1日最大800 μ g | <ul style="list-style-type: none"> ・完全溶解型で吸入前に振る必要がない ・1日1回で投与が可能 ・嘔声が少ない |
| 長時間作用型 β 刺激薬 (LABA) | DPI 自吸式 | オンブレス吸入用カプセル150 μ g (7日分/枚) | インダカテロールマレイン酸塩 |  | 慢性閉塞性肺疾患 | 1回150 μ gを1日1回 | <ul style="list-style-type: none"> ・カプセルの交換が必要 ・正しく吸えているときは音が鳴るためわかりやすい |
| | DPI 自吸式 | セレベント50ディスクス (60吸入/本) | サルメテロールキシナホ酸塩 |  | 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 | 1回50 μ gを1日2回 | <ul style="list-style-type: none"> ・60回連続使用可能でディスク交換の必要がない ・残り使用回数が数字で表示されるが小さい ・開封後24ヵ月以内に使用する |
| 抗コリン薬 (LAMA) | DPI 自吸式 | エンクラッセ62.5 μ gエリプタ30吸入用 | ウメクリジニウム臭化物 |  | 慢性閉塞性肺疾患 | 1回1吸入(62.5 μ g)を1日1回 | <ul style="list-style-type: none"> ・操作が簡単(開→吸→閉のみ) ・残り使用回数目盛が大きく見易い ・開封後6週間以内に使用する |
| | SMI 噴霧式 | スピリーバ2.5 μ gレスピマット60吸入 | チオトロピウム臭化物水和物 |  | 慢性閉塞性肺疾患 気管支喘息 | <p>【慢性閉塞性肺疾患】 1回2吸入(5μg)を1日1回</p> <p>【気管支喘息】 1回2吸入(5μg)を1日1回</p> <p>※1.25μg製剤(未採用)を使用して1回2吸入(2.5μg)を1日1回で使用する用法もあり</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・初回到カートリッジの挿入が必要 ・残量0になるとロックがかかるため使用終了がわかりやすい ・喘息に適応有り ・挿入後3ヵ月経過した物は使用しない |

| 分類 | デバイス | 商品名 | 一般名 | 製剤写真 | 効能・効果 | 用法・用量 | 特徴 |
|------------|-------------|--------------------------------------|--|--|--------------------------------------|--|--|
| ステロイド＋β刺激薬 | DPI 自吸式 | レルベア100エリプタ30吸入用 レルベア200エリプタ30吸入用 | ビランテロールトリフェニル酢酸塩 フルチカゾンフランカルボン酸エステル |  | 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 (200はCOPDの適応無し) | 【気管支喘息】 1回100 1日1回 症状に応じて、 1回200 1日1回に増量可 【慢性閉塞性肺疾患】 1回100 1日1回 | ・最も操作が簡単(開→吸→閉のみ) ・残り使用回数目盛が大きく見易い ・開封後6週間以内に使用する |
| | DPI 自吸式 | シムビコートタービューヘイラー60吸入 | ブデソニド ホルモテロールフマル酸塩水和物 |  | 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 | 【気管支喘息】 1回1吸入1日2回 1日最大1回4吸入1日2回 【慢性閉塞性肺疾患】 1回2吸入を1日2回 | ・気管支喘息には、発作時に追加吸入する用法あり(SMART療法) ・残りの使用回数が数字で表示されるが小さい |
| | pMDI 噴霧式 | フルティフォーム125エアゾール120吸入用 | フルチカゾンフランカルボン酸エステル ホルモテロールフマル酸塩水和物 |  | 気管支喘息 | 症状に応じて、 1回2～4吸入を1日2回 | ・定量噴霧式のステロイドとβ刺激薬の合剤 |
| 抗コリン薬＋β | SMI 噴霧式 | スピオルトレスピマツト60吸入 | チオトロピウム臭化物水和物 オロダテロール塩酸塩 |  | 慢性閉塞性肺疾患 | 1回2吸入を1日1回 | ・初回にカートリッジの挿入が必要 ・残量0になるとロックがかかるため使用終了がわかりやすい ・挿入後3ヵ月経過した物は使用しない |
| 型短β時間刺激薬 | pMDI 噴霧式 | サルタノールインヘラー100μg | サルブタモール硫酸塩 |  | 気管支喘息 肺気腫 急・慢性気管支炎 肺結核 | 1回2吸入、1日4回まで | ・過度の使用により、不整脈や心停止などの重篤な副作用が発現する危険性が有り |

pMDI(加圧式定量噴霧吸入器):患者の吸う力がなくても使用できるが、吸気と噴霧のタイミングを合わせる必要がある

DPI(ドライパウダー吸入器):粉末を自身の力で吸入するため、pMDIと異なり同期させずに吸入することができるが、吸気速度が速くないと十分に吸えないことがある

SMI(ソフトミスト吸入器):細かい霧を噴霧させて吸入するため、肺機能が低下している患者でも吸入しやすい